

変更履歴

ダイヤル通話料金明細内訳データCSV形式仕様書

【メンバーズネットホスト一括送付用】

変更履歴

No	変更年月日	版数	変更理由	変更内容 No
01	平成 15 年 4 月 1 日		お客様ご指摘事項の反映、および既存の媒体データに基づいた記述見直しによる。	01～12
02	平成 23 年 2 月 20 日		システムバージョンUPに伴う記述内容見直しによる。	13～19
03	平成 24 年 8 月 9 日		システムバージョンUPに伴う記述内容見直しによる。	20～21
04	平成 30 年 12 月 3 日		システムバージョンUPに伴う記述内容見直しによる。	22～25
05	2019 年 12 月 6 日		お客様ご指摘事項の反映および既存の媒体データに基づいた記述内容の見直しによる。	26～33

変更内容

No	頁	レコード名等	項番	項目名	変更内容		変更区分
					変更前	変更後	
1	2	2. (1) 作成するファイル	3	通話明細ファイル	ROOOOOm3.CSV	ROOOOOOr3.CSV	修正
2	2	2. (1) 作成するファイル	4	電番合計ファイル	ROOOOOm5.CSV	ROOOOOOr5.CSV	修正
3	4	4. (2) 電番管理レコード	11	出力形式	桁数が6桁	桁数を8桁	修正
4	5	4. (5) 電番合計レコード (クレジット通話分)	11	通話時間	通信時間	通話時間	修正
5	6	5. (1) 共通管理レコード	10	請求回数	例: 初回請求時はスペース 例: 同一月内に2 回請求した場合"2"	※回数は 0 から起算 例: 初回請求時"0"	修正
6	7	5. (2) 電番管理レコード	4	サービス区分	(例)"メンバーズ"、"INSメンバーズ"、"クレジット"を設定	例: アナログメンバーズ→"VPN" INSメンバーズ→"INS-VPN" クレジット→"クレジット"	修正
7	7	5. (2) 電番管理レコード	11	出力形式	桁数が6桁	桁数を8桁	修正

変更内容

No	頁	レコード名等	項番	項目名	変更内容		変更区分
					変更前	変更後	
8	7	5. (2) 電番管理レコード	13	お客様番号	お客さま番号	お客様番号	修正
9	8	5. (3) 通話明細レコード	4	サービス区分	(例) "メンバーズ"、"INSメンバーズ"、"クレジット"を設定	例: アナログメンバーズ→"VPN" INSメンバーズ→"INS-VPN" クレジット→"クレジット"	修正
10	10	5. (4) 電番合計レコード	4	サービス区分	(例) "アナログメンバーズ"、"INSメンバーズ"、"クレジット"を出力	例: アナログメンバーズ→"VPN" INSメンバーズ→"INS-VPN" クレジット→"クレジット"	修正
11	11	5. (5) 電番合計レコード (クレジット通話分)	9	非希望時合計金額	非希望時合計通信料	非希望時合計金額	修正
12	11	5. (5) 電番合計レコード (クレジット通話分)	11	通話時間	通信時間	通話時間	修正
13	1、	1. 媒体作成条件	3、4	フォーマット形式 標準最大出力件数		FD、MOの記述削除 (部分)	削除
14	6	(1) 共通管理レコード	2	媒体識別		FD、MOの記述削除 (部分)	削除
15	6	(1) 共通管理レコード	2	媒体識別		BSの記述追加 (ヒリングステーション)	追加
16	9	5. (3) 通話明細レコード	15	通話種別		媒体コード表<ダイヤル 通話明細>への参照記述を追加	追加
17	8	5. (3) 通話明細レコード	11、12	通話料金1、2		INSメンバーズの場合の設定値を追記	追加
18	9	5. (3) 通話明細レコード	18	地域名		INSメンバーズの場合の設定値を追記	追加
19	8	(3) 通話明細レコード	8	着信電話番号	携帯電話番号は以下の編集となります	11 桁電話番号は以下の編集となります	変更
20	4 6	4. レコード構成 5. (1) 共通管理レコード	2	媒体識別	(桁数)3	(桁数)2	変更
21	2 5 11	電番合計レコード(クレジット通話分)	—	—		サービス終了に伴いクレジット通話に関連する記述削除 (部分)	削除
22	6	5. (1) 共通管理レコード	4	ファイル作成日付	和暦 平成 12 年 8 月 3 日→ " 120803"	西暦 2019 年 4 月 3 日→ " 190403"	変更

変更内容

No	頁	レコード名等	項番	項目名	変更内容		変更区分
					変更前	変更後	
23	6	5. (1) 共通管理レコード	5	料金月	和暦 平成 12 年 8 月→ “ 1208 ”	西暦 2019 年 4 月→ “ 1904 ”	変更
24	7	5. (2) 電番管理レコード	6	利用月日初日	和暦	西暦 例を追加	変更
25	7	5. (2) 電番管理レコード	7	利用月日末日	和暦	西暦 例を追加	変更
26	7 8 10	5. (2) 電番管理レコード 5. (3) 通話明細レコード 5. (4) 電番合計レコード	3	子電話番号	発信電話番号を設定 (クレジットの場合は、課金 先電話番号) 例: “(03)1234-5678” (カッ コ付きハイフン編集)	発信電話番号を設定 例: “(03)1234-5678” (カッ コ付きハイフン編集)	変更
27	7 8 10	5. (2) 電番管理レコード 5. (3) 通話明細レコード 5. (4) 電番合計レコード	4	サービス区分	サービス区分を設定 例: アナログメンバーズ→ “VPN” INSメンバーズ→“INS-V PN” クレジット→“クレジット”	サービス区分を設定 例: アナログメンバーズ→ “VPN” INS メンバーズ、IP-Voice メンバーズ →“INS-VPN”	変更
28	7	5. (2) 電番管理レコード	8	各種サービス番号	スペースを設定。但し、ク レジットサービスの場合は 上1桁を登録番号1桁(ス ペース又は“0”~“9”)で設 定	スペースを設定	変更
29	8	5. (3) 通話明細レコード	5	通信元電話番号	サービス区分=“INS-V PN”(INSメンバーズ)で、 出力形式=“発ID有”の場 合、発信者番号を設定 例: “1234-5678”(市外局 番は表示いたしません) サービス区分=“クレジット ”の場合、会員番号を設定 例: “1234567890” 上記以外はスペースを設 定	サービス区分=“INS- VPN”(INSメンバーズ、 IP-Voice メンバーズ)で、 出力形式=“発ID有”の場 合、発信者番号を設定 例: “1234-5678”(市外局 番は表示いたしません) 上記以外はスペースを設 定	変更
30	8	5. (3) 通話明細レコード	9	県名	サービス区分=“VPN”(アナログメンバーズ)、“IN S-VPN”(INSメンバーズ)の場合、スペースを設定 上記以外は県名を設定 例: “千 葉”	サービス区分=“VPN”(アナログメンバーズ)、“IN S-VPN”(INSメンバーズ 、IP-Voice メンバーズ)の 場合、スペースを設定 上記以外は県名を設定 例: “千 葉”	変更
31	8	5. (3) 通話明細レコード	11~13	通話料金1 通話料金2 通話料金3	エンジェルライン、あんな いジョーズご利用時の情報 料は、検索回数を設定	左記の一部文言を削除し 以下の文言を追記 ・IP-Voice メンバーズの 場合、ナビダイヤルへの 通話は「通話料金3」に料 金を設定。 それ以外の全ての通話は 「通話料金2」に料金を設 定。	変更
32	9	5. (3) 通話明細レコード	18	地域名	発信MA名を設定 ※サービス区分=“INS- VPN”(INSメンバーズの 場合、着信側のMA名が設 定 ※着信が携帯の場合、携 帯が着信したMA名が設定	発信MA名を設定 ※サービス区分=“INS -VPN”(INSメンバーズ 、IP-Voice メンバーズ)の 場合、着信側のMA名が 設定 ※着信が携帯の場合、携 帯が着信したMA名が設 定	変更

変更内容

No	頁	レコード名等	項番	項目名	変更内容		変更区分
					変更前	変更後	
33	10	5. (4)電番合計レポート	6	合計金額	サービス区分／利用内訳、利用区分単位の総通話料金を設定	サービス区分／利用内訳、利用区分単位の総通話料金を設定 (注)「電番合計ファイル」のレコード出力については、移動体着／PHS 着を除く、通話料を集計した金額を「メンバーズネット通話料／通信料」または「IPVoice・通話料」としてレコード出力しています。 ※通話明細ファイルの電話番号毎の集計金額と不一致となる場合があります。	変更